

(別紙様式1)

平成27年度学校評価実施計画

学校名	大分県立別府鶴見丘高等学校
-----	---------------

前年度評価結果の概要	<p>○学力向上については、高い数値目標を掲げているが、最難関大学現役3名が合格し、特に中・上位において成績を伸ばしている。しかし、学習時間については、1、2年生の学習時間が昨年度より減少しており、来年度に向けて生徒の学習意欲を高める工夫を考えていく。</p> <p>○生活指導については、生徒の自己評価は高いが自転車事故が多発し、来年度の最重要課題と考えている。多欠席生徒の対応については、情報交換の工夫により、素早い対応ができるようになった。部活動は、体育部・文化部とも、概ね活性化されている。更なる学習との両立を目指していく。</p> <p>○本校への志願者確保は、中高連絡会や「鶴高だより」の配布などで、効果が上がった。上位層の大分市内への流出を防ぐために、更なる広報が必要である。PTAに関する行事の参加など、PTAとの連携はとれているが、学年保護者会については、更に改善を考えていく。学校HPは、保護者の認知も高まってきているので、今後は更に内容の充実を図る。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
学力と人間性を兼ね備えたタフな鶴高生を育成する。	<p>○授業力を向上するとともに自らの学習の計画・見直しができる生徒を育成することにより、学校が掲げる大学数値目標の達成を図る。</p> <p>○規範意識・人権意識を高揚するとともに、部活動・生徒会を一層活性化させる。</p> <p>○家庭・地域等に積極的に情報発信することにより、大学(特に難関大学)進学を希望する本校志願者を確保する。</p>	<p>○学力向上・進路達成に向けた学習指導及び進路指導体制の充実</p> <p>○生活指導の徹底、人権教育・道徳教育の充実及び生徒会活動・部活動のさらなる活性化</p> <p>○地域に関わられた学校づくりの推進</p>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
学力向上・進路達成に向けた学習指導及び進路指導体制の充実	<p>○平日の家庭学習時間のクラス平均を3時間以上にし、2時間未満の割合を20%以下にする。</p> <p>○模試学習到達ゾーンで、B3以上9割、S3以上15名を目指す。 (目標:国公立大学最難関2名、難関20名、総数150名)</p>	<p>○授業力を向上させるとともに、「生徒がわかる授業」伸ばす指導「見逃さない指導」を徹底する。</p> <p>○自立した学習者を育成するための指導の充実を図る。</p> <p>○キャリア教育の視点から総合的な学習の時間の充実を図る。</p> <p>○難関大学希望クラスの指導の充実を図る。</p>	<p>○大学入試総括会議(4月)、教科指導作戦会議(5月)を実施し、各学年・教科で取組を徹底する。</p> <p>○手帳を活用し生徒自らが学習の計画・見直しを行う力を育成する。(PDCAサイクルの確立)</p> <p>○進路シラバスを活用し、3年間の学習の流れを理解させるとともに、学習習慣の確立を図る。</p> <p>○生徒の進路選択を支援するための行事を充実する。 1年:職業人講話(7月)、1日大学体験入学(8月) 2年:志望大学のオープンキャンパス参加(8月) 1・2・3年:進路講演会(学年単位1回以上) 2年:卒業生等による合格体験談(3月)</p> <p>○大学入試総括会議、大学入試問題研究・報告会を実施し、その成果を各授業担当者が徹底して実践する。 ○教科会議等でAT問題の検討を実施し、思考力・判断力・表現力を問う良問を出題する。</p>	<p>PL:教務主任 SL:教科主任</p> <p>PL:教務主任 SL:進路指導主任 教科主任 学年主任</p> <p>PL:進路指導主任 SL:教務主任 学年主任</p> <p>PL:進路指導主任 SL:教務主任 教科主任 学年主任</p>
生活指導の徹底、人権教育・道徳教育の充実及び生徒会活動・部活動のさらなる活性化	<p>○挨拶、自転車乗車についての自己評価3.3以上を目指す。</p> <p>○心身の安定を図り、多欠席生徒数の減少を目指す。</p> <p>○部活動参加率75%以上、部活動満足度80%以上を目指す。</p>	<p>○日常の指導及び学校行事をとおして規範意識の定着を図る。</p> <p>○やさしさ・たくましさ・粘り強さを育てる指導を強化する。</p> <p>○生徒会活動・部活動の時間の確保と短時間集中型練習・活動を工夫する。</p>	<p>○マナー・モラルの向上を図るため、教職員に対して統一した基準を示す。また、関係機関と連携した指導・講演会等を実施する。さらに生徒会と協力して、あいさつ運動や登下校指導を毎月実施する(PTAと連携した登校指導は年3回実施する)。</p> <p>○人権意識を高めるための講演会・学習会を生徒教職員ともに全校で実施する。 ○特別支援教育や教育相談に関する職員研修を充実する。</p> <p>○部活動終了後、19:30完全下校を徹底する。 ○部活動キャプテン集いを年3回以上実施する。</p>	<p>PL:生徒指導主任 SL:学年主任 特別活動主任</p> <p>PL:保健・教育相談・特別支援教育主任 SL:人権教育主任 特別活動主任</p> <p>PL:特別活動主任 SL:学年主任</p>
地域に関わられた学校づくりの推進	<p>○大学(特に難関大学)進学希望の中学生が入学を希望する高校としての存在感を確立する。</p> <p>○PTA総会の出席率80%以上、学年保護者会の出席率70%以上を目指す。</p> <p>○ホームページを毎日(学期中平日)更新する。</p>	<p>○中高連携を一層推進する。</p> <p>○家庭、PTA等との連携を強化する。</p> <p>○家庭・地域への情報発信を推進する。</p>	<p>○中学生が希望する高校生活が送れる高校としてのPRの場として、オープンキャンパスを実施し、内容を充実させる。</p> <p>○学年保護者会を充実させ、学校と家庭との協力体制を強化する。 (学年保護者会の出席率を上げるために、実施時期を学年で検討する。)</p> <p>○ホームページ制作の分業体制を確立する(各分掌・学年より、月1回以上の記事・写真の提供)。 ○ホームページで様々な情報を発信し、内容の充実を図る。</p>	<p>PL:教務主任 SL:学校改革・進学力向上主任 特別活動主任 総務主任</p> <p>PL:総務主任 SL:学年主任</p> <p>PL:情報・図書主任 SL:教頭</p>